

# カナリヤ通信



第31号

「カナリヤ通信」では、さまざまな考え方をもちた女性が、社会の中で遅く、そしていて女性らしく声を出して、人生を楽しみながら働く姿を表現していきます。

## ～働き方について考え、気づく～

働き方・女性活躍を科学する

今回は6月13日付です。テーマは「眼精疲労」です。

男性でも女性でも働き方にはそれぞれ思いがあるでしょう。「一生懸命頑張りたい」「大きなプロジェクトに携わって成果を出したい」など、前向きに取り組む、達成感を得たいと考えている人も多いでしょう。しかし、能力に差がないにもかかわらず入社段階から男女の格差があると感じている人がいるのも事実です。今回は、公平・公正な判断・評価のツールとして、仕事をデータ化・可視化することで女性活躍・働き方改革につなげる秘訣について話を聞きました。



男女格差は依然存在しています。特定の部署にしか女性を配属しないケースも散見されます。学歴や採用時の適性検査(SPI)が同レベルであっても、配属先に違いがなくても、男性には高度な仕事を与えられ、女性はルーティン業務が与えられるというケースは多いのではないのでしょうか。また、男性は本人の経験の幅を広げるために、計画的な異動機会を与えられる一方、女性は会社都合で異動させられるケースが多いかもしれません。結果的に男性と女性では10年を待たずに、仕事を辞める能力に差が出てしまいます。組織をマネジメントするためには幅広い知識と経験、人的ネットワークが重要となってきますが、女性は、そういった経験のできる部署への配属・異動が少ないため、役員クラスまで昇進している人が極端に少ないのが現状です。

### 「業務の棚卸し」をする

一つひとつの仕事を改善するには、長時間労働の習慣を改め、男女が同じ働き方ができる部署を増やす必要があります。そのためには、生産性の向上が必要になります。まずは会社全体の「業務の棚卸し」を行い、個人個人の業務全てを把握し可視化することが重要です。ただ、数千規模の企業で一気には調査しデータを取得するのは大変です。まずは人数が多く、自動化しやすいルーティン業務が多い部署から始めるのがよいでしょう。棚卸しは、まず社員一人ひとりの主な

早稲田大学政治経済学術院教授

大湾 秀雄氏



業務工程を書き出すことから始まり、次に、省略できる業務、自動化・機械化・アウトソーシングできる業務と、いったように仕分けをしていきます。その中で業務の効率化と軽減を図ることも可能になり、可視化することで働き方改革の中で求められる業務調整や仕事の相互支援が容易になります。自動化しやすい職種の整理が進んだら、次第にルーティン業務の少ない、より高度な職種業務の棚卸しをします。よく、1人で仕事を抱え込んでいたり、ケースを聞きまわったり、個人に依存している限り、ブラックボックスとなって、業務の効率化は進みません。そうならないためには、社員が何の仕事をしているかを把握し可視化していきま。業務内容がプロセスとして記述できれば、同じ仕事を複数の人間がこなせるよう多能化を進めやすくなります。同じスキルを持つ人が増えれば、部署やチームのメンバーと仕事や情報を共有しやすくなり、社員自身や家族の病気など突然の休暇でも

### 業務の棚卸し(洗い出し作業)



### 多面評価



上司の一方的な評価のバイアスを正し、他人と協働・情報共有しない社員は行動を改めさせるために、多面評価(多面評価)を採用する企業が増えてきました。多面評価は、部下の育成に力を注ぎ、同僚と積極的な協力・情報共有を管理職社員との関係が高くなります。ただし、通常の業績評価よりも高くなり、将来の業績との関係が高くなります。また、通常の業績評価よりも高くなり、将来の業績との関係が高くなります。また、通常の業績評価よりも高くなり、将来の業績との関係が高くなります。

### 能力開発には多面評価を

## 快適職場へ、まずはデータ活用

「(\*)上司だけでなく同僚、部下、後輩、他部署からの評価を総合的に判断する評価制度。360度評価とも言う」

働く人全員がハッピーになれば良いと思います。そのためには、匿名化した上で、ストレスチェックや仕事満足度調査の個人データを分析することが大切です。例えば、リモートワークを採用した場合、活用している人にとっては満足・ストレス軽減という結果が出て、管理職と一緒に働く人にとっては負担が増え不満度でありストレスを増やしている場合があります。個人のデータを使った分析で、会社の施策がどのような属性の社員に効果があり、どのような属性の人に追加的な支援が必要かを知ることが可能となります。ただし、ストレスチェック診断などは、社内人間にはこうした分析を行うことが許されないで、匿名化した上で分析結果を提供する研究機関や事業者に依頼する必要があります。どの職場・部署・属性でも快適な職場を作るために、まずはデータ活用を試みてほしいと思います。

子どもを持つ女性社員が働きやすい職場を作るには、育児の大変さや重要性を皆が理解することが必要です。そのために、男性が主体的に育児をやるべきです。今、国のパパ・ママ育休プラスという制度のもと、両親が同時に休暇を取れるようになってきました。しかし、一緒に取ったのでは、母親が主になって育児をしてしまいがちで、本当の大変さを知るためにも、父親1人で子どもと向き合ってみてほしいです。私もコントロールの効かない育児に大変な思いをしました。この問題の重要性に目を向けるきっかけになりました。

### 幸せな気持ちで働くために

### 父親1人で子ども向き合おう

女性活躍、働き方改革を迫られている現状において、トップ主導の意識改革が必要でしょう。日本郵政では、男性の育休取得率を引き上げるために、「1週間以上の育児休暇を取得した男性社員に1万円を付与する」としました。その結果、それまで1割程度だった本社社員の取得率が5割以上上がったそうです。これは1万円というお金の効果というよりも、制度導入によってトップの真意が伝わった結果、その下の管理職クラスも従わざるを得なくなり、取得しやすい環境になったと考えられます。取得率が5割にまで上がった制度として定着し、働き方改革につながっていくものと考えられます。

### トップの真意を伝える

日刊建設通信新聞社は、8月9日に開催する「夏のリコチャレ2018わたしの住むまちをデザインする仕事」に出展する団体所属等の女性部会を31日まで募集します。また、合わせて出展する企業も募集します。

**夏のリコチャレ2018 女性部会の出展者 31日まで募集**

出展を希望される団体・企業は31日までに所定の用紙に記入の上、ファクス03-3259-8730または電子メール(rikochalle@kensetsunews.com)にお送り下さい。所定用紙はホームページ(https://www.kensetsunews.com/rikochalle)からダウンロードできます。

問い合わせは、電話03-3259-8711または電子メール。

\*「夏のリコチャレ2018～理工系のお仕事体感しよう～」は内閣府、文部科学省、日本経済団体連合会が主催する事業で、当社は参加企業として、日本大学理工学部と共催で開催します。中学生から大学生を対象に建設産業界の技術を体感してもらおう予定です。

**可愛らしいグッズでマッサージ**

コジットの「リトルリフレッシュ」

「オフィスグッズは色々あるけれど、どうせ置いたら可愛くて実用的なものがない」と思っている人は多いのでは。狭いスペースだからこそ、こだわりグッズを置きたいですよね。そこで今回紹介するのが「リトルリフレッシュ」全3種類。カラフルで可愛らしいのに、ちょっとしたマッサージ機能があるのです。

価格は、フラミンゴが800円、レインボーが1,000円、サポテンが1,200円(いずれも税別)。全国のバラエティショップなどで販売しています。いつでもどこでもリフレッシュできるマッサージグッズなので、3つ並べてもいいかもしれません。

レインボー サポテン  
フラミンゴ 3つ並べても

◇「リトルリフレッシュ」を抽選でそれぞれ1名にプレゼント!  
住所、氏名、電話番号を明記の上、編集部へファクスかウェブから応募下さい。締め切りは5月25日(金)です。

ピンチを未来への情熱に変える

FPD Solutions Ltds  
セールスアシスタント 大島 未里さん

米国で学生時代を過ごし、帰国後は航空会社に勤務していました。主に、外国籍のお客さまの出入国トラブル、飛行機に乗り遅れたお客さまへのサポートや緊急着陸のサービスの調整を行ってまいりました。1分1秒が勝負の航空業界。スムーズな説明や誘導を「人とのかかわり」としてお客さまと触れ合うことで「日本に来て、あなたに出会えてよかった」と心が通じ合う瞬間がありました。

現在、外資パルパル会社へ転職し、セールスアシスタントとして働いています。長期間のプロジェクト

を成功させていくためには、クライアントと海外工場との緻密なやりとりが非常に重要です。時差や海外の祝日で連絡が滞ってしまい、冷や汗をかく時もあります。文化や価値観、言語の違いから生じる問題で板挟みになることもあります。一つひとつの出来事に改善策を生み出していくことが必要とされますが、1年かかったプロジェクトを成功に導いたときの喜びは、新たなプロジェクトへの情熱になります。常に問題を解決し、未来へのビジネスにつなげていくことが私の仕事スタイルです。

楽しいビジネスライフと一緒に送りたいです。

連絡先はこちら →

■お問い合わせ  
株式会社日刊建設通信新聞社 カナリヤ通信編集部  
TEL03-3259-8711 FAX03-3259-8730

■ご意見・ご感想、プレゼントの応募は  
canaria@kensetsunews.comまでお寄せください。  
「カナリヤ通信」は、日刊建設通信新聞社の登録商標です。 webで公開中